

2021 年度「プロジェクト研究Ⅱ」(卒業論文および制作を含む)

研究・展示分科会について

担当教員：金田先生、寺本先生、北川先生、中尾先生、望月先生、滝口先生

研究・展示分科会では、**5月28日(金)までに「エントリーシート」を3号棟1階の教学事務に提出**し、下記に従い「**研究・展示作品**」を提出及び発表する者に限り単位認定を行うものとする(原則として「エントリーシート」の提出がない場合は認めない)。

1. 「研究・展示作品」提出日程と方法

- ① 「事前審査内容」提出期限→**所属プロジェクト研究の2021年12月の最終授業時**までに、「概要報告書(レポート)」をゼミ指導教員に提出すること。
- ② 「研究・展示作品」提出指定日→2022年1月19日(水)・20日(木) 時間指定内に、指定場所に、「作品」もしくは「研究成果レポート」及び「パワーポイントスライド(印刷したもの)」を提出すること。但し、事前審査用内容物(概要報告書もしくは第1回研究成果レポート)を提出しない学生は、原則として単位の認定を行わない。

上記①、②のいずれも、提出内容・方法の詳細について、事前に指導教員と相談の上決定しておくこと。

2. 「研究・展示作品」内容について

- ① 「研究・展示分科会」にエントリーする学生は、以下のどちらかの形で研究・作品制作に取り組み、その成果を発表する。
 - A. 「研究」を選択した学生は、その研究成果を12,000字以上のレポートにまとめて提出期限までに提出し、その内容をパワーポイントを使用し(15枚以上のスライド)、プレゼンテーション発表会場にて研究成果のプレゼンテーションを行う。他の学生のプレゼンテーションについても評価・レポートする。「研究」についての詳しい内容については別途マニュアルを配布する。研究内容の概要については、展示会場においてパネル形式での展示を予定する。
 - B. 「展示作品」を選択した学生は、その対象となる「作品」は、展示発表会で展示発表できるものであれば、形式は問わない(ただしエントリーシート提出段階で指導教員の承認を得たものに限る)。「作品」の内容に関連する「研究レポート」も合わせて提出する。「研究レポート」の文字数や形式については、原則として学生が所属するプロジェクト研究担当教員の指導に基づく。展示会場での展示発表が不可能なものについては、その概要などを工夫して展示会場で発表することにより、代替することが出来るものとする。(例:展示会場に収まらない巨大作品や、学外でのイベントなどへの出展の場合は、作品内容を映像などにまとめ、展示会場において発表する)。
- ② 「研究・発表分科会」に提出する「研究・展示作品」の指導は、原則として学生が所属するプロジェクト研究担当教員(指導教員)が行なう。
- ③ 成績評価は、提出する「研究・展示作品」を指導教員が審査を行なった上で、「研究・展示分科会」において審査結果を確認する。
- ④ 「研究・展示分科会」は、指導教員から提示された「優秀作品」の中から「最優秀作品」を選定する。
- ⑤ 「研究・展示作品」は、オリジナリティのあるものとする(単に資料を集めたものなどは不可とし、「著作物」として認められるものとする)。
- ⑥ 「研究・展示作品」は、個人、グループいずれの作品も可とする(ただしエントリーシート提出段階で指導教員の承認を得たものに限る)。
- ⑦ 展示発表のための準備は、「研究・展示作品」を提出した学生が、全て実施・手配するものとする。

3. A 「研究」を選択した学生 研究成果レポート及びパワーポイントスライドの提出

内容は、各プロジェクト研究指導教員と話し合いながら決定し、1年間をかけて執筆する。

スケジュールは以下の通り。

- ① エントリーシート締切日：2021年5月28日(金) 3号棟教学事務室(事前の履修登録必須)
- ② 研究成果レポート第一回提出日：**所属プロジェクト研究の2021年12月の最終授業時**
- ③ 研究成果レポート及びパワーポイントスライド(15枚以上を印刷したもの)最終提出日：2022年1月19日(水)20日(木)
 - ※ ②と③の提出方法は、◆**研究成果レポートの書式および提出方法**を参照すること。
 - ※ 研究成果レポートの最終提出は、第一回提出をした学生のみ受け付ける。

◆研究成果レポートの書式および提出方法

① 書式

[全般] 日本語横書き、A4、40字×30行(MS Wordのデフォルトの設定)、12,000字以上。

[投稿区分] 1行目に左寄せで投稿区分を〈 〉(山かっこ)を付けて記す(MS明朝11pt)。

[プロジェクト名と指導教員名] 投稿区分から一文字空けて、同じ列に記す(MS明朝11pt)

[題名] 3行目に題名を書く(MS明朝14pt、中央揃え)。副題があれば次の行に書く(MS明朝11pt、中央揃え)。

[氏名] 題名(副題)から1行空けて書く(MS明朝12pt、中央揃え)。

〔要旨〕 氏名から1行空けて始める。

〔目次〕 目次には新しい頁を設ける。章・節・項の数字と見出しはHGゴシックE 11pt。

〔本文〕 本文には新しい頁を設ける。MS明朝 10.5pt (アルファベットとアラビア数字はCenturyを使用)。

〔図表〕 図と表には、それぞれ通し番号と見出しをつける (図の場合は下側、表の場合は上側)。例：図1。

〔引用文献リスト、参考資料リスト〕 本文から3行空けて始める (MS明朝 10.5pt)。以下の例に従い、項目別で五十音順に記載すること。

単行本：波田 浩之「この1冊ですべてわかる 新版 広告の基本」日本実業出版社 2018/4/12、p112。

雑誌：「Casa BRUTUS(カーサ ブルータス) 2019年1月号 [茶の湯とデザイン]」マガジンハウス (2018/12/7)、p16-17。

URL：毎日新聞社「第86回毎日デザイン広告賞」<https://macs.mainichi.co.jp/design/ad-m/> (2021年3月26日現在)

〔その他〕 ページ数必須。

【サンプル】

〈研究・展示作品分科会レポート〉

プロジェクト研究II 指導教員：金田克美先生

広告とデザイン

— 広告におけるデザインと色彩の関係 —

XA2018-000 城西 太郎

要旨 本研究レポートは・・・

② レポート第一回提出方法：論文のワードデータを自分の指導教員に添付ファイルで送信する。

※ 件名は、研究成果レポート (学籍番号：氏名) と記入する。

③ レポート最終提出の方法：研究成果レポート及びパワーポイントスライド (15枚以上) を印刷し、指定場所に提出する。

※ 指定場所は12月に通達する。

3. B. 「展示作品」を選択した学生「研究・展示作品」の概要報告書(レポート)について

【日本語横書】【全般】A4版、40字×36行(MS Wordのデフォルトの設定)。

① 表紙

〔投稿区分〕 1行目に左寄せで投稿区分とゼミ指導教官をくゝ(山かっこ)を付けて記す。(MS明朝 11pt)。

〔卒業制作〕 5行目に「2020年度 卒業制作」と書く(MS明朝 20pt、センタリング)。

〔題名〕 10行目に作品題名を書く(MS明朝 22pt、センタリング)副題があれば、次の行に書く(MS明朝 18pt、センタリング)。

〔学科〕 25行目に「メディア情報学科」と書く(MS明朝 12pt、センタリング)。

〔学籍番号・氏名〕 26行目に書く(MS明朝 12pt、センタリング)。共同制作の場合、全員の学籍番号・氏名を1行ずつ書く。

〔所属〕 氏名(共同制作の場合は全員の氏名)の次の行に、「城西国際大学 メディア学部」と書く(MS明朝 12pt、センタリング)。

② 概要及び解説

〔投稿区分〕 1行目に左寄せで投稿区分とゼミ指導教官をくゝ(山かっこ)を付けて記す。(MS明朝 11pt)。

〔題名〕 3行目に作品題名を書く(MS明朝 14pt、センタリング)。副題があれば、次の行に書く(MS明朝 11pt、センタリング)。

〔氏名〕 題名(副題)から1行空けた行に書く(MS明朝 12pt、センタリング)共同制作の場合、全員の学籍番号・氏名を1行ずつ書く。

〔概要〕 氏名から4行空けて、「【概要】」と記して600～1,000字の概要を記載する(MS明朝 11pt)。

〔解説〕 概要から3行空けて、作品のオリジナリティについて「【解説】」と記して600～1,000字の説明を記載する(MS明朝 11pt)。必要に応じて適宜、図表(写真含む)を文章中に挿入、もしくは別添としても構わない。

※上記全てにおいて、アルファベットとアラビア数字は、フォントはCenturyを使用。

※サンプルフォーマットを、各プロジェクト研究担当教員(指導教員)から配布する。

提出期限→所属プロジェクト研究の2021年12月の最終授業時までに、「概要報告書(レポート)」をゼミ指導教員に提出すること。